

全国豊かな海づくり大会

子どもたちが海や魚に

親しみ感じる内容に

問 2021年に第41回全国豊かな海づくり大会が本市をメイン会場として開催される。子どもたちが海や魚に親しむと感じられる大会になるのか。

答 全国豊かな海づくり大会は、水産資源の保護や漁業振興、環境保全に対する意識の高揚を図ることなどを目的に全国の都道府県で巡回開催している。詳細は県実行委員会が決定されるが、式典行事は市民会館で、海上歓迎・放浪行事は明石港ペラング護岸で行う予定だ。大会では、豊かな海づくりの活動に功績のあった団体や個人の表彰、大会決議のほか、稚魚の放流や漁船パレードなどが行われる。大会の円滑な運営は



いつまでも豊かで美しい海を

更生支援の取り組み

地域全体で支える

人材育成の強化が必要

問 更生支援の取り組みをさらに推進していくためには、地域の理解と協力が必要である。また、更生支援の担い手づくりも必要と考えるが、市の見解を問う。

答 更生支援の対象者が組織の立ち上げを支援し、農地の集積や集約により経営の効率化を進め、担い手の確保とともに関係機関との連携を図り、持続的な経営ができるような環境づくりを進めていく。

もとより、若い世代や子どもたちが大会に関わることに、ふるさと意識や地域への愛着を育む契機となるように漁業関係者等と連携し、子どもたちが海や魚に親しむを進めていきたい。

再び地域で安定した暮らしを続けていくためには、行政の支援だけではなく保護司や更生保護女性会等の民間ボランティアの協力が不可欠である。しかし、保護司は全国的に人手不足や高齢化の課題を抱えており、本市では定数87人に満たない状況が続いている。そのため、保護司会や神戸保護観察所と連携しながら保護司の確保に加えて保護司活動をサポートする人材の育成を強化する必要がある。

人を支えるのは人であり、まちの安全安心にもつながることから、法務省とも相談し、保護司ではないがサポートする人材を条例に基づき確保できる仕組みも視野に入れながら検討していきたい。

監査委員

選任に同意

識見を有する者の中から選任する監査委員のうち、星川啓明氏の退職に伴い、後任として藤田隆大氏(43歳・大久保町ゆりのき通2丁目)を選任することに同意しました。

同氏は、平成13年に公認会計士登録、17年には税理士登録され、現在は税理士・公認会計士藤田隆大事務所所長、兵庫六甲農業協同組合監事、株式会社OMこうべ監査役、株式会社光アルファックス監査役を務められています。

なお、監査委員の任期は4年です。

選挙管理委員会

委員を選出

選挙管理委員会委員および同補充員を選出しました。

委員は森田尚敏氏(83歳・大久保町江井島)、船津憲二氏(78歳・西明石町2丁目)、富田賢治氏(72歳・鷹匠町)、村松克行氏(70歳・藤江)の4名です。

教育委員会委員

任命に同意

教育委員会委員の任期満了に伴い、柏木輝恵氏(36歳・松の内2丁目)を任命することに同意しました。

同氏は、公募により選ばれた初めての教育委員会委員です。本市の教育委員は4人で任期は4年です。



安定した農作物の供給を

問 農業経営の継続策や農業者への支援について、市の考えを聞く。

答 市はこれまで農業振興のため、国と連携した経営所得安定対策や米の大型共同利用機械・施設の導入支援、都市近郊型農業の特性を生かすための野菜の生産振興を行ってきた。さらに、農業基盤整備として、ため池の改修や農道、水路等の維持補修なども推進してきた。

これらの取り組みは、農作物の安定供給や持続的な農業経営に寄与していると考え、農作物の全国的な価格低迷による収益減少や資材高騰による経営状況の悪化などから農業従事者が減少し、担い手不足による従事者の高齢化を招いている。市は認定農業者の育成や集落営農組

全ての市民が安心して暮らせるまちへ

【担当分野】 教育、福祉、介護保険、子育て支援や子どもの健全育成、保健衛生などの市民の暮らしを支える分野を審査します。



くに 出 拓 志

【議会歴】 在職4期。監査委員、建設企業常任委員長、生活文化常任副委員長などを歴任。62歳。

重点的に取り組む事項
明石こどもセンターでは、学校との連携強化を図り、児童虐待の早期発見、早期対応により、子どもの命を守り、全ての子どもたちが笑顔で過ごせるよう、迅速で適切な支援を徹底してまいります。また、本市は国から2017年12月に「共生社会ホストタウン」、今年8月に「先導的共生社会ホストタウン」の認定を受け、新たに

委員長から一言
全ての市民に深い関わりのある委員会であり、それだけに市民の皆さまの声を大切にしながら、住んでよかった、住み続けていきたいと思っただけで、やさしいまちづくりを目指して頑張っています。

未来を見据えた長期総合計画を

総務

常任委員長に聞く

【担当分野】 市政の総合企画、広報、財政、市税などの総務・財務部門や防災、消防などの市民の安全に関わる分野を審査します。



はやし けん 太

【議会歴】 在職2期。監査委員、総務常任委員長、建設企業常任副委員長などを歴任。37歳。

重点的に取り組む事項
次期長期総合計画となる(仮称)あかしSDGS推進計画の策定は非常に大きな事業です。この先50年、100年と持続可能な未来を見据えた計画になります。骨子にはSDGSの理念と、来年策定予定のやさしいまちづくりの指針となる(仮称)あかしインクルーシブ条例の内容を反映し、市民一人一人に分かりやすく、寄り添える計画にしたいと考えています。

委員長から一言
皆さんはSDGSをご存じですか。持続可能な開発目標として、2015年の国連サミットで採択された2030年までの世界共通の目標です。このSDGSの目標を達成し、私たちの住む明石が、これから先もずっと持続し続けるためにはどうすればよいか一緒に考えていきましょう。